

第三セクターの経営情報について

報告対象団体		北九州まちづくり応援団株式会社
会社概要	会社の事業概要	1 指定管理事業 2 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業 3 その他自主事業
	資本金額	32,000 千円
	本市の出資額	1,000 千円
	本市の出資割合	3.125 %
	従業員数	32 人
営業報告の要点		<p>小倉中心地市街地の賑わい創出のため、次の活動を行った。</p> <p>1. 指定管理事業 「小倉城」、「小倉城庭園」、「水環境館」の指定管理者として、施設の管理・運営を行った。 小倉城は、リニューアル工事で平成30年8月から平成31年3月まで閉館したため、入場者数が対前年比40%の7.5万人、小倉城庭園の入場者については対前年比93%の7.1万人となった。 来館者の減少により、売上が大幅に減少したが、指定管理事業としては7,670千円の黒字となっている。</p> <p>2. 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業 予定通り実施した。</p>
収支状況の要点	当期純利益	2,902 千円
	前年度との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高 242,645 千円 (対前年度比 37,091 千円減) (前年度 279,736 千円) ・経常利益 3,287 千円 (対前年度比 3,900 千円減) (前年度 7,187 千円) ・当期純利益 2,902 千円 (対前年度比 1,286 千円増) (前年度 1,616 千円)
	その他 (剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期末(平成30年3月31日)の繰越利益剰余金 8,403 千円
繰越利益剰余金		11,307 千円
株主総会 (令和元年6月19日開催)	監査報告	監査役1名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	<p>(1)決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 第14期事業報告及び決算案承認の件 ・第2号議案 取締役選任の件

(平成31年3月31日現在)

北九州まちづくり応援団株式会社

平成30年度 経営状況報告

令和元年10月1日
産 業 経 済 局

【1号議案】

平成30年度事業報告書

〔 自：平成30年4月1日 〕
〔 至：平成31年3月31日 〕

活動の概要および成果

第14期(平成30年度)は、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④ビル管理事業の4つに絞り、北九州市の重要な観光資源である「小倉城／小倉城庭園」を中心に、行政や周辺の商店街などと連携し、賑わいづくり・活性化に寄与してまいりました。

指定管理事業(小倉城・小倉城庭園・水環境館)のうち、まず小倉城につきましては、平成30年8月から翌年3月までのリニューアル工事の影響分を折り込み、770万円の赤字予算としておりました。入場者は前年度(平成29年度)に対して60%減少したものの、売店を着見櫓の2階に移して営業を続けたことや、駐車場の収入の落ち込みが想定より少なかったこと、更にリニューアルオープン直後の3月末2日間の予想を上回る集客効果もあって、小倉城の営業収入は、予算より**1,080万円**向上しました。市からの受託料補填もあり、辛うじて小倉城の経常利益は黒字化できました。また、小倉城庭園につきましては、入館者数は小倉城閉館による3館共通券の販売減少と韓国からの観光客の入館減少により、対前年93%となり、営業収入も、予算を**280万円程**下回りましたが、経常利益で**800万円**ほど確保できました。水環境館も僅かに予算を上回り、指定管理事業全体として、経常利益では**767万円**の黒字を達成できました。

本部関連事業において「共通駐車券事業」および「賑わいイベント事務局事業」「ビル管理事業」につきましては、おおむね予定通りの活動ができました。共通駐車券では、3件の新規契約先を開拓できました。小倉イルミネーションでは、市制55周年記念として大乾杯大会直後に花火を打ち上げ、集った市民及び観光客に愉しんでもらいました。本部経費として、次期指定管理に向けた提案活動費、アテンダント研修や拠点事務所の移転費用などが先行的にかかりましたので、**400万円**ほど費用が膨らみました。

以上の事業活動の結果、当社の当年度収入は、**2億4264万円**(対前年86.7%)と小倉城の8ヶ月閉館による負の影響はありましたが、収入改善や経緯削減に取り組んだ効果もあり、経常利益は**329万円**と、黒字計上ができました。

貸借対照表

北九州まちづくり応援団 株式会社

平成31年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 63,876,978】	【流動負債】	【 19,084,613】
現 金	5,247,892	未 払 費 用	14,334,780
預 金	42,736,671	未 払 法 人 税 等	385,200
商 品	1,943,617	預 り 金	1,417,903
貯 蔵 品	878,232	仮 受 金	1,722,130
仮 払 金	19,440	未 払 消 費 税	1,224,600
前 払 費 用	209,952	【固定負債】	【 3,916,000】
未 収 入 金	12,806,165	長 期 借 入 金	3,916,000
立 替 金	35,009	負債合計	23,000,613
【固定資産】	【 2,430,326】		
(有形固定資産)	(2,024,326)		
建 物 附 属 設 備	2,024,326		
(投資その他の資産)	(406,000)		
投 資 有 価 証 券	60,000	【株主資本】	【 43,306,691】
出 資 金	10,000	資 本 金	32,000,000
敷 金	336,000	(利 益 剰 余 金)	(11,306,691)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	11,306,691
		繰 越 利 益 剰 余 金	11,306,691
		純資産合計	43,306,691
資産合計	66,307,304	負債・純資産合計	66,307,304

損益計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
事業収入金	48,388,777	
小倉城関連売上	194,256,618	242,645,395
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	2,882,097	
小倉城関連売上原価	5,544,553	
仕 入 高	42,292,350	
* * 合 計 * *	50,719,000	
期末棚卸高	△1,943,617	48,775,383
売上総利益金額		193,870,012
【販売費及び一般管理費】		195,361,933
営業損失金額		△1,491,921
【営業外収益】		
受 取 利 息	559	
雑 収 入	4,834,380	4,834,939
【営業外費用】		
支払利息割引料		55,109
経常利益金額		3,287,909
税引前当期純利益金額		3,287,909
法人税、住民税及び事業税		385,200
当期純利益金額		2,902,709

販売費及び一般管理費

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	1,749,900
福 利 厚 生 費	354,749
旅 費 交 通 費	80,861
通 信 費	229,006
交 際 費	4,400
減 価 償 却 費	150,783
賃 借 料	578,439
保 険 料	32,422
修 繕 費	33,000
水 道 光 熱 費	190,549
消 耗 品 費	589,547
租 税 公 課	87,164
事 務 用 品 費	131,623
支 払 手 数 料	46,600
諸 会 費	225,280
新 聞 図 書 費	18,350
会 議 費	81,476
清 掃 費	7,140
地 代 家 賃	1,468,000
事 業 運 営 費	3,098,319
協 賛 金	230,000
雑 費	1,637,330
小倉城関連諸経費	184,336,995
合 計	195,361,933

小倉城関連諸経費の内訳

小倉城・北九州まちづくり応援団(株)

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	55,480,566
賞 与	10,305,000
雑 給	11,409,182
特 別 功 勞 金	2,423,912
法 定 福 利 費	11,444,407
福 利 厚 生 費	4,619,453
委 託 費	270,040
旅 費 交 通 費	142,968
通 信 費	1,344,319
交 際 費	174,349
賃 借 料	696,798
保 險 料	875,903
修 繕 費	2,656,180
水 道 光 熱 費	9,240,858
消 耗 品 費	902,882
租 税 公 課	25,071
車 両 費	29,143
事 務 用 品 費	57,718
広 告 宣 伝 費	1,414,000
印 刷 物 等 作 成 費	2,130,283
支 払 手 数 料	366,864
諸 会 費	163,175
新 聞 図 書 費	76,441
呈 茶 関 連 費 用	6,792,124
文 化 関 連 費 用	34,540,892
維 持 清 掃 費	13,607,400
警 備 業 務 費	1,595,791
保 守 点 検 費	2,396,600
協 賛 金	7,130,000
会 議 費	3,665
雑 費	2,021,011
合 計	184,336,995

株主資本等変動計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

単位：円

株主資本

資本金 当期首残高及び当期末残高 32,000,000

利益剰余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金 当期首残高 8,403,982

当期変動額 当期純利益 2,902,709

当期末残高 11,306,691

株主資本合計

当期首残高 40,403,982

当期変動額 2,902,709

当期末残高 43,306,691

個別注記表

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 226,174円

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たりの純資産額 67,666円70銭

一株当たりの当期純利益又は当期純損失 4,535円48銭

監査報告書

北九州まちづくり応援団株式会社
代表取締役 原田 康 様

第14期事業年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日迄）の
会計帳簿ならびに必要な関係書類を綿密に監査いたしました。

その結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

以上

令和1年5月27日

北九州まちづくり応援団株式会社

監査役：

庄山和利

2号議案

(1) 取締役辞任及び取締役選任(案)について

氏名	生年月日		備考
二郎丸 聡夫		取締役	北九州商工会議所 理事・事務局長
北里 勝利		取締役	北九州市 小倉北区長

※中村涉取締役は、第14回株主総会をもって辞任

※鮎川典明取締役は、第14回株主総会をもって辞任

・取締役の任期

至 第14回定時株主総会終結時 (令和1年6月19日)

至 第15回定時株主総会終結時 (令和2年6月末予定)

・監査役の任期

至 第12回定時株主総会終結時 (平成29年6月19日)

至 第15回定時株主総会終結時 (令和2年6月末予定)

第15期 2019年度事業計画

〔 自：2019年4月1日
至：2020年3月31日 〕

活動計画の概要

当年度は、前年度に引き続き ①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、の3本柱で利益を生み出し、それによって北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に寄与してまいります。

「指定管理事業」につきましては、小倉城及び小倉城庭園を新たに今年度から3年間運営管理することとなりました。但し、3年後の勝山公園との一体化も視野に入れ、単独ではなく、地域の4団体との共同事業体での運営を選択しました。この4月から共同事業体での運営がスタートしましたが、これから新たな方針に基づき運営していきます。小倉城につきましては、昨年8月からのリニューアル工事（エレベーター新設及び展示施設刷新）が完成し、3月末にオープンし、これまで好調な立ち上がりとなっています。新たに追加の付帯施設としてオープンしたしるテラスも、お土産コーナーの売上も順調に推移しています。

「共通駐車券事業」につきましては、引き続き、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業PRを行ってまいります。

「賑わいイベント事務局事業」につきましては、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局を引き続き受託予定であり、独自事業であるイルミネーション初日の大乾杯大会も例年通り開催を予定しております。

結果として、第15期の収入は2億7,000万円を見込んでおりまして、経常利益については、黒字計上を目指します。

平成31年3月31日現在

会社の概要

(1) 主な事業内容

- ①「中心市街地活性化事業」の推進
- ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
- ③公共施設の管理運営受託

(2) 事業所

本社

・北九州市小倉北区船場町2-10

指定管理部門（小倉城・小倉城庭園）

・北九州市小倉北区城内2番1号（小倉城） 他

(3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 1,000株
- ②発行済株式の総数 640株
- ③当期末株主数 18名

(4) 株主の状況

(1株=5万円)

株主名	持株数	出資金額
北九州商工会議所	60株	300万円
株式会社井筒屋	60株	300万円
TOTO株式会社	60株	300万円
株式会社安川電機	60株	300万円
小倉中央商業連合会	60株	300万円
協同組合日専連北九州	60株	300万円
シャボン玉石けん株式会社	60株	300万円
APAMAN株式会社	20株	100万円
第一交通産業株式会社	20株	100万円
西鉄バス北九州株式会社	20株	100万円
中央記念株式会社	20株	100万円
株式会社コレット井筒屋	20株	100万円
国際興業株式会社	20株	100万円
株式会社九広	20株	100万円
石川金属工業株式会社	20株	100万円
福岡地所株式会社	20株	100万円
株式会社朝日広告社	20株	100万円
北九州市	20株	100万円
合計	640株	3200万円

(5) 取締役および監査役

氏名	生年月日	役職	備考
利島康司		代表取締役会長	北九州商工会議所 会頭
原田康		代表取締役社長	北九州商工会議所 副会頭
中村渉		取締役	北九州商工会議所 参事
甲山博美		取締役	小倉中央商業連合会 顧問
鮎川典明		取締役	北九州市 小倉北区長
原賀一博		取締役	北九州まちづくり応援団(株)
庄山和利		監査役	西鉄バス北九州(株) 取締役社長

北九州まちづくり応援団株式会社

平成30年度 経営状況報告

令和元年10月1日
産 業 経 済 局

【1号議案】

平成30年度事業報告書

〔 自：平成30年4月1日 〕
〔 至：平成31年3月31日 〕

活動の概要および成果

第14期(平成30年度)は、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、④ビル管理事業の4つに絞り、北九州市の重要な観光資源である「小倉城／小倉城庭園」を中心に、行政や周辺の商店街などと連携し、賑わいづくり・活性化に寄与してまいりました。

指定管理事業(小倉城・小倉城庭園・水環境館)のうち、まず小倉城につきましては、平成30年8月から翌年3月までのリニューアル工事の影響分を折り込み、770万円の赤字予算としておりました。入場者は前年度(平成29年度)に対して60%減少したものの、売店を着見櫓の2階に移して営業を続けたことや、駐車場の収入の落ち込みが想定より少なかったこと、更にリニューアルオープン直後の3月末2日間の予想を上回る集客効果もあって、小倉城の営業収入は、予算より**1,080万円**向上しました。市からの受託料補填もあり、辛うじて小倉城の経常利益は黒字化できました。また、小倉城庭園につきましては、入館者数は小倉城閉館による3館共通券の販売減少と韓国からの観光客の入館減少により、対前年93%となり、営業収入も、予算を**280万円程**下回りましたが、経常利益で**800万円**ほど確保できました。水環境館も僅かに予算を上回り、指定管理事業全体として、経常利益では**767万円**の黒字を達成できました。

本部関連事業において「共通駐車券事業」および「賑わいイベント事務局事業」「ビル管理事業」につきましては、おおむね予定通りの活動ができました。共通駐車券では、3件の新規契約先を開拓できました。小倉イルミネーションでは、市制55周年記念として大乾杯大会直後に花火を打ち上げ、集った市民及び観光客に愉しんでもらいました。本部経費として、次期指定管理に向けた提案活動費、アテンダント研修や拠点事務所の移転費用などが先行的にかかりましたので、**400万円**ほど費用が膨らみました。

以上の事業活動の結果、当社の当年度収入は、**2億4264万円**(対前年86.7%)と小倉城の8ヶ月閉館による負の影響はありましたが、収入改善や経緯削減に取り組んだ効果もあり、経常利益は**329万円**と、黒字計上ができました。

貸借対照表

北九州まちづくり応援団 株式会社

平成31年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 63,876,978】	【流動負債】	【 19,084,613】
現 金	5,247,892	未 払 費 用	14,334,780
預 金	42,736,671	未 払 法 人 税 等	385,200
商 品	1,943,617	預 り 金	1,417,903
貯 蔵 品	878,232	仮 受 金	1,722,130
仮 払 金	19,440	未 払 消 費 税	1,224,600
前 払 費 用	209,952	【固定負債】	【 3,916,000】
未 収 入 金	12,806,165	長 期 借 入 金	3,916,000
立 替 金	35,009	負債合計	23,000,613
【固定資産】	【 2,430,326】		
(有形固定資産)	(2,024,326)		
建 物 附 属 設 備	2,024,326		
(投資その他の資産)	(406,000)		
投 資 有 価 証 券	60,000	【株主資本】	【 43,306,691】
出 資 金	10,000	資 本 金	32,000,000
敷 金	336,000	(利 益 剰 余 金)	(11,306,691)
		そ の 他 利 益 剰 余 金	11,306,691
		繰 越 利 益 剰 余 金	11,306,691
		純資産合計	43,306,691
資産合計	66,307,304	負債・純資産合計	66,307,304

損益計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
事業収入金	48,388,777	
小倉城関連売上	194,256,618	242,645,395
【売 上 原 価】		
期首棚卸高	2,882,097	
小倉城関連売上原価	5,544,553	
仕 入 高	42,292,350	
＊ ＊ 合 計 ＊ ＊	50,719,000	
期末棚卸高	△1,943,617	48,775,383
売上総利益金額		193,870,012
【販売費及び一般管理費】		195,361,933
営業損失金額		△1,491,921
【営業外収益】		
受 取 利 息	559	
雑 収 入	4,834,380	4,834,939
【営業外費用】		
支払利息割引料		55,109
経常利益金額		3,287,909
税引前当期純利益金額		3,287,909
法人税、住民税及び事業税		385,200
当期純利益金額		2,902,709

販売費及び一般管理費

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	1,749,900
福 利 厚 生 費	354,749
旅 費 交 通 費	80,861
通 信 費	229,006
交 際 費	4,400
減 価 償 却 費	150,783
賃 借 料	578,439
保 険 料	32,422
修 繕 費	33,000
水 道 光 熱 費	190,549
消 耗 品 費	589,547
租 税 公 課	87,164
事 務 用 品 費	131,623
支 払 手 数 料	46,600
諸 会 費	225,280
新 聞 図 書 費	18,350
会 議 費	81,476
清 掃 費	7,140
地 代 家 賃	1,468,000
事 業 運 営 費	3,098,319
協 賛 金	230,000
雑 費	1,637,330
小倉城関連諸経費	184,336,995
合 計	195,361,933

小倉城関連諸経費の内訳

小倉城・北九州まちづくり応援団(株)

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	55,480,566
賞 与	10,305,000
雑 給	11,409,182
特 別 功 勞 金	2,423,912
法 定 福 利 費	11,444,407
福 利 厚 生 費	4,619,453
委 託 費	270,040
旅 費 交 通 費	142,968
通 信 費	1,344,319
交 際 費	174,349
賃 借 料	696,798
保 險 料	875,903
修 繕 費	2,656,180
水 道 光 熱 費	9,240,858
消 耗 品 費	902,882
租 税 公 課	25,071
車 両 費	29,143
事 務 用 品 費	57,718
広 告 宣 伝 費	1,414,000
印 刷 物 等 作 成 費	2,130,283
支 払 手 数 料	366,864
諸 会 費	163,175
新 聞 図 書 費	76,441
呈 茶 関 連 費 用	6,792,124
文 化 関 連 費 用	34,540,892
維 持 清 掃 費	13,607,400
警 備 業 務 費	1,595,791
保 守 点 検 費	2,396,600
協 賛 金	7,130,000
会 議 費	3,665
雑 費	2,021,011
合 計	184,336,995

株主資本等変動計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

単位：円

株主資本

資本金 当期首残高及び当期末残高 32,000,000

利益剰余金

その他利益剰余金

繰越利益剰余金 当期首残高 8,403,982

当期変動額 当期純利益 2,902,709

当期末残高 11,306,691

株主資本合計

当期首残高 40,403,982

当期変動額 2,902,709

当期末残高 43,306,691

個別注記表

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 226,174円

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たりの純資産額 67,666円70銭

一株当たりの当期純利益又は当期純損失 4,535円48銭

監査報告書

北九州まちづくり応援団株式会社
代表取締役 原田 康 様

第14期事業年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日迄）の
会計帳簿ならびに必要な関係書類を綿密に監査いたしました。

その結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

以上

令和1年5月27日

北九州まちづくり応援団株式会社

監査役：

庄山和利

2号議案

(1) 取締役辞任及び取締役選任(案)について

氏名	生年月日		備考
二郎丸 聡夫		取締役	北九州商工会議所 理事・事務局長
北里 勝利		取締役	北九州市 小倉北区長

※中村涉取締役は、第14回株主総会をもって辞任

※鮎川典明取締役は、第14回株主総会をもって辞任

・取締役の任期

至 第14回定時株主総会終結時 (令和1年6月19日)

至 第15回定時株主総会終結時 (令和2年6月末予定)

・監査役の任期

至 第12回定時株主総会終結時 (平成29年6月19日)

至 第15回定時株主総会終結時 (令和2年6月末予定)

第15期 2019年度事業計画

〔 自：2019年4月1日
至：2020年3月31日 〕

活動計画の概要

当年度は、前年度に引き続き ①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、の3本柱で利益を生み出し、それによって北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に寄与してまいります。

「指定管理事業」につきましては、小倉城及び小倉城庭園を新たに今年度から3年間運営管理することとなりました。但し、3年後の勝山公園との一体化も視野に入れ、単独ではなく、地場の4団体との共同事業体での運営を選択しました。この4月から共同事業体での運営がスタートしましたが、これから新たな方針に基づき運営していきます。小倉城につきましては、昨年8月からのリニューアル工事（エレベーター新設及び展示施設刷新）が完成し、3月末にオープンし、これまで好調な立ち上がりとなっています。新たに追加の付帯施設としてオープンしたしるテラスも、お土産コーナーの売上も順調に推移しています。

「共通駐車券事業」につきましては、引き続き、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業PRを行ってまいります。

「賑わいイベント事務局事業」につきましては、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局を引き続き受託予定であり、独自事業であるイルミネーション初日の大乾杯大会も例年通り開催を予定しております。

結果として、第15期の収入は2億7,000万円を見込んでおりまして、経常利益については、黒字計上を目指します。

平成31年3月31日現在

会社の概要

(1) 主な事業内容

- ①「中心市街地活性化事業」の推進
- ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
- ③公共施設の管理運営受託

(2) 事業所

本社

・北九州市小倉北区船場町2-10

指定管理部門（小倉城・小倉城庭園）

・北九州市小倉北区城内2番1号（小倉城） 他

(3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 1,000株
- ②発行済株式の総数 640株
- ③当期末株主数 18名

(4) 株主の状況

(1株=5万円)

株主名	持株数	出資金額
北九州商工会議所	60株	300万円
株式会社井筒屋	60株	300万円
TOTO株式会社	60株	300万円
株式会社安川電機	60株	300万円
小倉中央商業連合会	60株	300万円
協同組合日専連北九州	60株	300万円
シャボン玉石けん株式会社	60株	300万円
APAMAN株式会社	20株	100万円
第一交通産業株式会社	20株	100万円
西鉄バス北九州株式会社	20株	100万円
中央記念株式会社	20株	100万円
株式会社コレット井筒屋	20株	100万円
国際興業株式会社	20株	100万円
株式会社九広	20株	100万円
石川金属工業株式会社	20株	100万円
福岡地所株式会社	20株	100万円
株式会社朝日広告社	20株	100万円
北九州市	20株	100万円
合 計	640株	3200万円

(5) 取締役および監査役

氏名	生年月日	役職	備考
利島康司		代表取締役会長	北九州商工会議所 会頭
原田康		代表取締役社長	北九州商工会議所 副会頭
中村渉		取締役	北九州商工会議所 参事
甲山博美		取締役	小倉中央商業連合会 顧問
鮎川典明		取締役	北九州市 小倉北区長
原賀一博		取締役	北九州まちづくり応援団(株)
庄山和利		監査役	西鉄バス北九州(株) 取締役社長